

【令和4年度】
長野市自転車活用推進計画に係る
実績報告
【暫定版】



令和5年2月

長野市

企画政策部交通政策課

地域・市民生活部地域活動支援課

建設部道路課

1 キャッチフレーズ

自転車さっそうで「ながの」を早爽と ～自然・健康・家計にやさしいまち～

- ・自転車で風を切って爽快に、「ながの」の自然を感じられる
- ・日常的に自転車を利用することで、健康増進・環境負荷の低減につながる
- ・自家用車から自転車に乗り換えることで、“おさいふ”＝家計にもやさしい

※「早爽（さっそう）」は、自転車で走る早さと、爽快感をイメージした造語。

2 目標像

- 🚲 通勤・通学や買い物などで自転車が日常的に利用されている。
- 🚲 移動距離が5km以内の場合は、自転車が最有力候補となっている。
- 🚲 自転車が安全に安心して利用できるまちとなっている。

3 計画期間 令和2年度から令和6年度まで

4 基本方針及び指標と目標値

基本方針	指標と目標値
基本方針1 自転車を活用した ライフスタイルの定着	● 自転車を日常的に（週2、3日程度以上）利用する人が市民の50%以上 現状値 「ほぼ毎日」及び「週2、3日程度」の合計が45.1% （令和元年度「自転車の利用に関するアンケート」による）
基本方針2 自転車通行空間等の整備	● 自転車ネットワーク路線における優先整備路線（計37.9km）の整備率が100%（整備計画延長24.6km） 現状値 整備率35.1%（整備済み延長13.3km）
基本方針3 安全に向けた啓発と 賠償責任保険加入の促進	● 自転車に関する事故件数が15%減 現状値 235件/年（令和元年）
基本方針4 自転車を活用した観光振興	● 自転車の総合的な使いやすさを「満足」と感じる人が市民の30%以上 現状値 「満足」と「どちらかといえば満足」の合計が9.4% （令和元年度「自転車の利用に関するアンケート」による）

5 実施スケジュール

基本方針	施策・事業	実施スケジュール				
		R2	R3	R4	R5	R6
1	自転車を活用したライフスタイルの定着					
	施策1 健康増進・環境負荷低減につながる自転車の価値をPR					
	1 自転車の利用促進につながる広報啓発	■	■	■	■	■
	2 健康増進・環境負荷低減につながる広報啓発	■	■	■	■	■
	3 自転車の利用促進につながるマップの作成				■	■
	施策2 自転車通勤等の促進					
	1 自転車通勤拡大のための広報啓発		■	■	■	■
	2 エコ通勤運動の推進			■	■	■
	3 公共交通と組み合わせた通勤・通学の推進	■	■	■	■	■
2	自転車通行空間等の整備					
	施策3 通勤・通学路の重点的な整備					
	1 自転車ネットワーク計画に基づく自転車通行空間の計画的な整備	■	■	■	■	■
	2 道路標識・道路標示の適切な設置・運用		■	■	■	■
	3 通行空間の利用方法、マナーの周知	■	■	■	■	■
	施策4 目的やニーズに応じた駐輪場の整備					
	1 バス停周辺に駐輪スペースを設置		■	■	■	■
	2 市営自転車駐車場の適正な管理・運営	■	■	■	■	■
	3 鉄道駅周辺駐輪場へのサイクルスタンド等の設置	■	■	■	■	■
3	安全に向けた啓発と賠償責任保険加入の促進					
	施策5 段階的な交通安全教育の推進					
	1 世代に応じた交通安全教育の充実	■	■	■	■	■
	2 自転車交通安全に関する人材の育成	■	■	■	■	■
	施策6 自転車の交通安全に関する広報啓発活動の推進					
	1 安全な自転車利用につながる広報活動	■	■	■	■	■
	2 交通安全運動を活用した街頭啓発活動の実施	■	■	■	■	■
	施策7 点検整備・自転車保険の加入促進など安全通行の確保					
	1 自転車保険の加入促進	■	■	■	■	■
	2 自転車の点検・整備の促進	■	■	■	■	■
	施策8 災害時における自転車の活用推進					
	1 災害時における自転車活用に関する検討	■	■	■	■	■
4	自転車を活用した観光振興					
	施策9 自転車走行環境・サイクリスト受け入れ環境の整備					
	1 交通結節点等におけるサイクリストの受け入れサービスの充実		■	■	■	■
	2 利用拠点における利便施設の整備		■	■	■	■
	施策10 サイクリングコースの提案等による、サイクルツーリズムの推進					
	1 千曲川サイクリングロードの環境整備	■	■	■	■	■
	2 新たなサイクリングコースの設定と広報周知	■	■	■	■	■

■: 実施済

6 実施事業一覧

令和4年度までに取り組んだ事業

基本方針	施策		事業	
基本方針1 自転車を活用した ライフスタイルの定着	1	健康増進・環境負荷低減につながる自転車の価値をPR	1	自転車の利用促進につながる広報啓発
			2	健康増進・環境負荷低減につながる広報啓発
			3	自転車の利用促進につながるマップの作成
	2	自転車通勤等の促進	1	自転車通勤拡大のための広報啓発
			2	エコ通勤運動の推進
			3	公共交通と組み合わせた通勤・通学の推進
基本方針2 自転車通行空間等 の整備	3	通勤・通学路の重点的な整備	1	自転車ネットワーク計画に基づく自転車通行空間の計画的な整備
			2	道路標識・道路標示の適切な設置・運用
			3	通行空間の利用方法、マナーの周知
	4	目的やニーズに応じた駐輪場の整備	1	バス停周辺に駐輪スペースを設置
			2	市営自転車駐車場の適正な管理・運営
			3	鉄道駅周辺駐輪場へのサイクルスタンド等の設置

基本方針	施策		事業	
基本方針3 安全に向けた啓発と賠償責任保険加入の促進	5	段階的な交通安全教育の推進	1	世代に応じた交通安全教育の充実
			2	自転車交通安全に関する人材の育成
	6	自転車の交通安全に関する広報啓発活動の推進	1	安全な自転車利用につながる広報活動
			2	交通安全運動を活用した街頭啓発活動の実施
	7	点検整備・自転車保険の加入促進など安全通行の確保	1	自転車保険の加入促進
			2	自転車の点検・整備の促進
	8	災害時における自転車の活用推進	1	災害時における自転車活用に関する検討
	基本方針4 自転車を活用した観光振興	9	自転車走行環境・サイクリスト受け入れ環境の整備	1
2				利用拠点における利便施設の整備
10		サイクリングコースの提案等による、サイクルツーリズムの推進	1	千曲川サイクリングロードの環境整備
			2	新たなサイクリングコースの設定と広報周知

7 令和4年度の事業内容

基本方針1 自転車を活用したライフスタイルの定着

該当する SDGs の目標（ゴール）：



【指標と目標値】

指標と目標値	<ul style="list-style-type: none"> ● 自転車を日常的に（週2、3日程度以上）利用する人が市民の50%以上 <p>現状値「ほぼ毎日」及び「週2、3日程度」の合計が45.1% （令和元年度「自転車の利用に関するアンケート」による）</p>
--------	--

【施策及び事業】

施策	1 健康増進・環境負荷低減につながる自転車の価値をPR
事業	1 自転車の利用促進につながる広報啓発 2 健康増進・環境負荷低減につながる広報啓発

令和4年度事業内容【計画】

1 自転車の利用促進につながる広報啓発

- (1) 自転車のルール・マナーや駐輪場等の適正利用に関する記事を広報ながの4月号へ掲載
- (2) 自転車の利用促進につながるチラシ等を活用した広報啓発
- (3) 市内高校等へ自転車の適正利用及び整理区域ガイドMAPを配布（4月）

2 健康増進・環境負荷低減につながる広報啓発

- (1) 職場向け健康通信による健康増進と自転車を活用した身体活動・運動について啓発

令和4年度取組内容【報告】

1 自転車の利用促進につながる広報啓発

- ◆ 広報ながの及びFMぜんこうじを活用し、自転車のルール及び駐輪場、整理区域等の適正利用に関する広報啓発を実施（4月）
- ◆ 市内全高校及び専門学校・短大・大学に、自転車の適正利用ポスター等を配布（5月）
- ◆ 市政番組（テレビ信州）を活用し、自転車のルール・マナーの啓発を実施（5月）

2 健康増進・環境負荷低減につながる広報啓発

- ◆ 職場向け健康通信による健康増進と自転車を活用した身体活動・運動について啓発（8月）

令和5年度事業内容【予定】

- ◆ 広報ながの、市ホームページ等を活用した広報啓発
- ◆ 自転車の利用促進につながるポスター・チラシ等を活用した広報啓発
- ◆ 職場向け健康通信による健康増進と自転車を活用した身体活動・運動について啓発
- ◆ 自転車の利用促進につながるマップの検討（サイト利用検討）

施策	2 自転車通勤等の促進
事業	1 自転車通勤拡大のための広報啓発 2 エコ通勤運動の推進 3 公共交通と組み合わせた通勤・通学の推進

令和4年度事業内容【計画】

1 自転車通勤拡大のための広報啓発

(1) 広報ながの、ホームページ等を活用した、自転車通勤拡大のための広報啓発

2 エコ通勤運動の推進

(1) 交通事業者と連携を図りながら広報を実施し、自転車の利用及びエコ通勤を促進する。

3 公共交通と組み合わせた通勤・通学の推進

(1) 鉄道駅周辺自転車駐車場の整備を実施

- ・北長野駅南口自転車駐車場屋根修繕及び照明LED化工事
- ・長野駅東口自転車駐車場区画線工事

(2) 主要なバス停周辺における駐輪場整備に向けた検討

令和4年度取組内容【報告】

1 自転車通勤拡大のための広報啓発

2 エコ通勤運動の推進

◆自転車利用促進チラシを市内企業130社へ配布（1月）

◆自転車通勤促進につながる広報啓発の実施

実施媒体 FMぜんこうじ

実施期間 令和5年2月～3月の月～金曜日

放送回数 午前7時15分及び午前7時50分の計2回

◆しなの鉄道車内中吊り広告掲出によるエコ通勤の広報啓発を実施（2月～3月）



【しなの鉄道中吊り広告】

3 公共交通と組み合わせた通勤・通学の推進

◆北長野駅南口自転車駐車場

屋根修繕及び照明LED化工事を実施（6～7月）

◆長野駅東口自転車駐車場区画線工事を実施（9月）

◆丹波島橋南自転車駐車場区画線工事（バス停周辺駐輪場の整備）を実施（9月）



【北長野駅南口自転車駐車場屋根修繕】

令和5年度事業内容（予定）

◆エコ通勤運動の推進

◆市役所庁舎駐輪場の整備

◆川中島駅自転車駐車場照明LED化工事

◆主要なバス停周辺における駐輪場整備に向けた検討

基本方針 2 自転車通行空間等の整備

該当する SDGs の目標（ゴール）：



【指標と目標値】

指標と目標値	<ul style="list-style-type: none"> ● 自転車ネットワーク路線における優先整備路線（計 37.9km）の整備率が 100%（整備計画延長 24.6km） <p>現状値 計画策定時：整備率 35.1%（整備済み延長 13.3km） 令和 4 年度末：整備率 56.7%（整備済み延長 21.3 km）</p>
--------	---

【施策及び事業】

施	策	3 通勤・通学路の重点的な整備
事	業	1 自転車ネットワーク計画に基づく自転車通行空間の計画的な整備 2 道路標識・道路標示の適切な設置・運用

令和 4 年度事業内容【計画】

1 自転車ネットワーク計画に基づく自転車通行空間の計画的な整備

- (1) 自転車通行空間整備
 矢羽根型路面標示設置（新幹線側道 L=1.1km、三輪幹線 L=0.5km）
- (2) 千曲川新道 自転車道・遊歩道の整備
 松代地区（城北工区 L=0.1 km、柴工区 L=0.2 km）

2 道路標識・道路標示の適切な設置・運用

- (1) 注意喚起看板設置（自転車通行可歩道）



【矢羽根型路面標示（三輪幹線）】

令和 4 年度取組内容【報告】

1 自転車ネットワーク計画に基づく自転車通行空間の計画的な整備

- ◆自転車通行空間整備
 矢羽根型路面標示設置（新幹線側道（犀川以北）L=1.2km、三輪幹線 L=0.5km）
- ◆千曲川新道 自転車道・遊歩道の整備
 松代地区（城北工区 L=0.1 km、柴工区 L=0.12 km）

2 道路標識・道路標示の適切な設置・運用

- ◆注意喚起看板設置（自転車通行可歩道）
 東通り N=5 か所 JR アンダーパス N=4 か所
- ◆自転車と自動車を混在通行とする道路（車道混在）について
 ホームページによる啓発（10 月）
 （矢羽根型路面表示を設置した道路における通行ルール）



【注意喚起看板（東通り）】

令和5年度事業内容【予定】

- ◆自転車通行空間整備
矢羽根型路面標示設置（長野西812号線、箱清水石堂線、新幹線側道（犀川以南））
- ◆千曲川新道 自転車道・遊歩道の整備 若穂地区（綿内北町工区 L=1.1 km）
- ◆注意喚起看板設置（自転車通行可歩道）
- ◆通行空間の利用方法、マナーの広報啓発

施 策	4 目的やニーズに応じた駐輪場の整備
事 業	1 バス停周辺に駐輪スペースを設置 2 市営自転車駐車場の適正な管理・運営 3 鉄道駅周辺駐輪場へのサイクルスタンド等の設置

令和4年度事業内容【計画】

- 1 バス停周辺に駐輪スペースを設置
(1) 主要なバス停周辺における駐輪場整備に向けた検討〈施策2-3（再掲）〉
- 2 市営自転車駐車場の適正な管理・運営
(1) 市営自転車駐車場の安全性の確保と利便性の向上のため、適正な維持・管理
- 3 鉄道駅周辺駐輪場へのサイクルスタンド等の設置
(1) 鉄道駅における駐輪場の充実（サイクルスタンド設置）

令和4年度取組内容【報告】

- 1 バス停周辺に駐輪スペースを設置
 - ◆丹波島橋南自転車駐車場区画線工事（バス停周辺駐輪場の整備）を実施（9月）
〈施策2-3再掲〉
- 2 市営自転車駐車場の適正な管理・運営
 - ◆市営自転車駐車場の安全性の確保のため、誘導灯等の修繕を実施
長野駅自転車駐車場 避難誘導灯ランプ取替（4月）
篠ノ井駅東口自転車駐車場 誘導標識取替（10月）
- 3 鉄道駅周辺駐輪場へのサイクルスタンド等の設置
 - ◆市営自転車駐車場へサイクルスタンド設置
三才駅自転車駐車場 1台（10月）



【丹波島橋南自転車駐車場】
（バス停周辺駐輪場区画線の整備）



【三才駅自転車駐車場】
（サイクルスタンド設置）

令和5年度事業内容【予定】

- ◆長野駅及び篠ノ井駅東口自転車駐車場アスベスト調査
- ◆北長野駅南口公園自転車駐車場樹木剪定
- ◆市営自転車駐車場へサイクルスタンド設置

基本方針 3 安全に向けた啓発と賠償責任保険加入の促進

該当する SDGs の目標（ゴール）：



【指標と目標値】

指標と目標値	<ul style="list-style-type: none"> ● 自転車に関する事故件数が 15% 減 <p>現状値 計画策定時：235 件/年（令和元年） 令和 4 年 12 月末時点：203 件 現状値との比較 13.6% 減</p>
--------	--

【施策及び事業】

施 策	5 段階的な交通安全教育の推進
事 業	1 世代に応じた交通安全教育の充実 2 自転車交通安全に対する人材の育成
令和 4 年度事業内容【計画】	
1 世代に応じた交通安全教室の充実 (1) 幼児から高齢者まで幅広い世代に応じた交通安全教育の実施 (2) 育成会等で自転車に特化した交通安全教室の実施 (3) 体験型交通安全教室の実施	
2 自転車交通安全に対する人材の育成 (1) 自転車安全運転指導者研修会等への参加促進	
令和 4 年度取組内容【報告】	
1 世代に応じた交通安全教室の充実 <ul style="list-style-type: none"> ◆交通安全教室を随時実施（12 月末時点で 75 回・4,787 人） <ul style="list-style-type: none"> ・園児：41 回（1,621 人） ・小学生：7 回（1,236 人） ・高齢者：24 回（616 人） ・その他：3 回（1,314 人） ◆シニアセーフティクラブにおける自転車シミュレータによる講習会を実施（R4.7.27） ◆小中学生対象のスケアード・ストレート方式による自転車交通安全教室の実施（R4.9.26） <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校 4 校参加 	
2 自転車交通安全に対する人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> ◆自転車安全運転指導者研修会への参加促進（7 人受講） 	
令和 5 年度事業内容【予定】 <ul style="list-style-type: none"> ◆幼児から高齢者まで幅広い世代に応じた交通安全教育の実施 ◆体験型交通安全教室の実施 	



【自転車交通安全教室】

施策	6 自転車の交通安全に関する広報啓発活動の推進
事業	1 安全な自転車利用につながる広報活動 2 交通安全運動を活用した街頭啓発活動の実施

令和4年度事業内容【計画】

- 1 安全な自転車利用につながる広報活動
 - (1) 市政番組や市政機関紙への記事掲載
- 2 交通安全運動を活用した街頭啓発活動の実施
 - (1) 関係機関・団体と連携した街頭啓発活動の随時実施
 - (2) 季別の安全運動での思いやり運転に関する広報の実施

令和4年度取組内容【報告】

- 1 安全な自転車利用につながる広報活動
 - ◆市政番組での自転車安全利用広報（4月）
 - ◆自転車利用時のルール遵守に関する記事掲載（広報ながの4月号、9月号）
 - ◆街頭啓発活動の随時実施（12月末時点で13回）
 - ◆自転車ヘルメット利用促進啓発（長野駅周辺）
- 2 交通安全運動を活用した街頭啓発活動の実施
 - ◆長電バス・アルピコ交通のそれぞれの路線バスに合計60枚のバスマスクを掲出（掲出期間：7月22日～9月30日）
 - ◆季別の交通安全運動での街頭啓発活動
 - 春の全国交通安全運動（4月6日・7日）
 - 夏の交通安全やまびこ運動（7月22日）
 - 秋の全国交通安全運動（9月21日）
 - 年末の交通安全運動（12月15日・20日）



【街頭啓発活動】

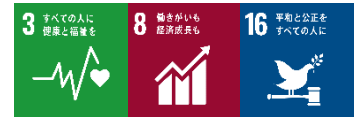
令和5年度事業内容【予定】

- ◆市政番組等による自転車安全利用広報
- ◆関係機関・団体と連携した街頭啓発活動の随時実施
- ◆季別の交通安全運動での思いやり運転に関する広報の実施

施 策	7 自転車保険の加入促進・点検整備など安全通行の確保
事 業	1 自転車保険の加入促進 2 自転車の点検・整備の促進
令和4年度事業内容【計画】	
1 自転車保険の加入促進 (1) あらゆる機会を通じた自転車損害賠償責任保険等の加入促進啓発	
2 自転車の点検・整備の促進 (1) 交通安全教室における自転車の点検・整備の啓発	
令和4年度取組内容【報告】	
1 自転車保険の加入促進 ◆市政番組において、自転車損害賠償責任保険等の加入促進啓発（4月） ◆市内全高校に自転車ルールの遵守と損害賠償事例、保険加入を促すポスター配布（5月）	
2 自転車の点検・整備の促進 ◆交通安全教室における自転車の点検・整備の啓発（随時）	
令和5年度事業内容【予定】	
◆交通安全教室における自転車の点検・整備の啓発 ◆あらゆる機会における自転車損害賠償責任保険等の加入促進啓発	

施 策	8 災害時における自転車の活用推進
事 業	1 災害時における自転車活用に関する検討
令和4年度事業内容【計画】	
1 災害時における自転車活用の検討 (1) 令和4年度に予定される長野市地域防災計画・長野市水防計画の見直しにおいて、災害応急対策として緊急輸送における自転車の活用について検討	
令和4年度取組内容【報告】	
◆防災対策の総合的な計画である長野市地域防災計画へ庁用自転車等の活用を位置付け計画：長野市地域防災計画（令和4年度改定） 〔震災対策編〕〈第3章_災害応急〉9_緊急輸送活動 内容：「職員の災害応急時の移動手段として庁内自転車等の活用を図る。」	
《計画予定事業完了》	

基本方針4 自転車を活用した観光振興



該当する SDGs の目標（ゴール）：

【指標と目標値】

指標と目標値	<ul style="list-style-type: none"> ● 自転車の総合的な使いやすさを「満足」と感じる人が市民の30%以上 現状値「満足」と「どちらかといえば満足」の合計が9.4% （令和元年度「自転車の利用に関するアンケート」による）
--------	--

【施策及び事業】

施策	策	9 自転車走行空間・サイクリスト受け入れ環境整備
事業		1 交通結節点等におけるサイクリストの受け入れサービスの充実 2 利用拠点における利便施設の整備

令和4年度事業内容【計画】

- 交通結節点等におけるサイクリストの受け入れサービスの充実
 - 長野駅における輪行作業推奨スペース明瞭化のための案内表示板等の設置に伴う関係各所との調整
- 利用拠点における利便施設の整備
 - レンタサイクル事業を実施している飯綱高原観光協会（オトナリハウス）に隣接して、レストランや、直売所、トイレを完備した「森の駅 Daizahoushi」を整備する。

令和4年度取組内容【報告】

- 交通結節点等におけるサイクリストの受け入れサービスの充実
 - ◆長野駅輪行作業推奨スペース明瞭化のための案内表示板等の設置について、長野地域振興局と意見交換
- 利用拠点における利便施設の整備
 - ◆「森の駅 Daizahoushi」を整備し、サイクリストが立ち寄ることができるようサイクルスタンドを設置



【森の駅 Daizahoushi】

令和5年度事業内容【予定】

- ◆各観光拠点におけるレンタサイクルの実施スキームの検討・運用
- ◆レンタサイクル自転車・サイクルコンピューターの購入、予約サイト構築等による受入環境整備
- ◆サイクリングを活用したアクティビティツアー商品の造成・発信・販売

施 策	10 サイクリングコースの提案等による、サイクルツーリズムの推進
事 業	2 新たなサイクリングコースの設定と広報周知

令和4年度事業内容【計画】

2 新たなサイクリングコースの設定と広報周知

- (1) 信越高原サイクリングモデルコースの活用と誘客の促進
 既存のモデルコース及び新たなサイクリングコースを利用し、ホームページやSNSを活用した広報を行うとともに、海外からの観光客に対し当該モデルコースの認知度の向上と魅力の発信、ツアー等の販売体制の整備を行う。
- (2) サイクリングコンテンツの拡充
 長野市公式観光サイト等に掲載するモデルコース実走レポートや動画等を制作し、ターゲットに対してより具体的な提案を行う。
- (3) サイクリングイベント実施の検討
 長野市を中心とした広域でのサイクリングイベントについて、調査検討、実施する。
- (4) 市内観光関連団体との意見交換及び連携強化
 各観光協会を導入するE-bike（スポーツバイクタイプの電動アシスト自転車）等のレンタサイクルの状況を的確に把握し、観光関連団体との意見交換の場を設け、イベントのPR等、支援を行う。
- (5) 長野県が主導するサイクルツーリズム推進団体等との連携
 県が主導するサイクルツーリズム推進団体「Japan Alps Cycling Project」への参画及び「長野・北信サイクルツーリズム推進会議」が主催する意見交換会等を通じ、情報交換や事業推進に努める。

令和4年度取組内容【報告】

2 新たなサイクリングコースの設定と広報周知

- ◆長野市サイクルツーリズム公式ホームページ「NAGANO CYCLING」や市政番組を利用した広報を実施
- ◆上記ホームページ「NAGANO CYCLING」に掲載中のモデルコースの実走レポート（1コース）を掲載
- ◆インバウンド集客のため、長野県、新潟県、富山県にまたがる信越高原サイクリングモデルコースについて、海外旅行会社及び国内旅行会社を招聘し商談会を実施
- ◆サイクリングイベントについて、調査・検討を実施
- ◆戸隠観光協会、飯綱高原観光協会との連携により、新たなコースを造成（2本）



【「NAGANO CYCLING」より】
 (モデルコース実走レポート)

- ◆大岡地区の大岡住民自治協議会と E-bike 導入について意見交換
- ◆長野県が主導するサイクルツーリズム推進団体「Japan Alps Cycling Project」への参画及び同団体が推進する長野県内一周サイクリングコース「Japan Alps Cycling Road」のコース確定に向け、長野県観光誘客課、長野県道路管理課と協議
- ◆「長野・北信サイクルツーリズム推進会議」が主催した意見交換会に参加し、情報交換や事業推進に努めた。

令和5年度事業内容【予定】

- ◆信越高原サイクリングモデルコースの活用と誘客の促進
- ◆「Japan Alps Cycling Project」との連携
- ◆サイクリングイベントの実施検討
- ◆モデルコース増設の検討
- ◆市内観光関連団体との意見交換及び連携強化